

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 令和7年度第3回
開催日時	令和7年7月9日（水曜日） 午後7時から午後8時まで
開催場所	オンライン開催
出席者	委員：稲葉委員長、浅見委員、寺澤委員、秦委員、大森委員、佐藤委員 事務局：河野課長、徳丸係長、渡辺主任、玉根主事
議題	1 企画事業について 2 令和7年度第2回企画運営委員会会議録（案）の承認 3 その他
会議資料	1 令和7年度男女平等推進センター企画講座 提案 2 令和7年度男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画書 3 令和7年度第2回会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

《開会》

事務局：第3回男女平等推進センター企画運営委員会を開催する。

本日の委員会の人数の確認と会の成立について、8名中6名出席で委員会は成立とする。

1 企画事業について

事務局：担当委員が遅れている事業について報告する。

「パパの一步が未来を変える～夫婦でつくる幸せのカタチ～」は、6月28日に実施し、20名の参加があり、チャットでもご質問等があり好評であった。

「不登校でも大丈夫と思える、子どもと歩む親のためのヒント」は、現在18人の申込みがある。

「わが子らしさが輝きだす、あたたかい育て方の秘訣」について委員から報告はあるか。

委員：現時点ではない。

事務局：「ノーバディズパーフェクト講座」について委員から報告はあるか。

委員：現時点ではない。

事務局：「正しく怖がるインターネット～SNSで絶対に失敗しない方法」について委員から報告はあるか。

委員：講師の方と調整し、10月18日の土曜日、午前10時から11時30分に開催することが決まった。内容は1時間の講義にQ&A方式の質疑応答30分で実施する。

委員の皆さんにも是非参加してほしい。

事務局：「(仮)食品サンプル作り」から報告はあるか。

委員：現時点ではない。今後詳細な事項を詰めていく予定でいる。

事務局：最後の講座は、例年実施している「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に講座を予定しているが、講座内容に関し要望等はあるか。

昨年は、包括的性教育をテーマにオンデマンド方式で実施したが、イメージ等でも構わないので、アイデアがあれば伺いたい。

委員：女性が中絶する際、パートナーの同意書が不要であることを知らなかった。

DVには直接関係ないが、中絶に関する知識普及講座も良いのではないか。

事務局：承知した。

他に何かあるか。

現状ではないようなので、何か要望等があれば事務局に連絡をいただきたい。

2 令和7年度第2回企画運営委員会会議録(案)の承認

委員長：修正箇所はあるか。

～修正なし～

事務局：承知した。

令和7年度第2回企画運営委員会の会議録(案)を承認する。

3 その他

事務局：委員から他に何かあるか。

委員：次年度の企画を2案検討しているが、発表しても構わないか。

事務局：承知した。

委員：1つ目は、「実家の片づけ講座」で、将来的に親の介護が必要になる前に実家を片付け、介護と仕事の両立を支援するとともに、エコプラザ等とのコラボで介護支援や廃棄物削減を目的に企画した。

講師は、介護の視点で収納整理を支援できる、介護福祉士であり、整理収納アドバイザーでもある「永井美穂」氏を検討している。

何か質問はあるか。

委員：いい企画だと思う。

委員：2つ目は「育児後に再就職・起業したい女性のための企業研究」で、就職活動の際に男女の賃金格差「0」の会社に就職できるよう、会社の長期的な視点や経営情報等で選択できるようなスキルアップ講座として企画した。

講師は、公認会計士の「田中靖浩」氏を検討しており、経済産業省の財務管理人材育成プロジェクト検討委員でもあるので、女性の人材育成に関する講座も期待している。

委員：この講座は仕事の見つけ方なのか。

委員：どのような会社が女性にとって格差がない会社であるか、就職する際の選択基準を学べる企業研究講座になる。

委員：女性向であるなら良いと思う。

委員：事務局に企画書を送るので、委員で確認してほしい。

事務局：承知した。

他に何かあるか。

事務局：先程も提案したが、今年度の講座は、残り1つ、市が企画する「DV講座」があるが、講座内容等で要望はあるか。

DVに拘らず女性の支援的な講座でも構わない。

委員：一般的に男性から無意識にソフモラハラ的な言動があると思っている。

そのため、男女の意識改革できる相互理解の講座があっても良いのではないか。

事務局：精神的な圧力もDVに該当するし、ソフト面で夫婦間の再構築講座になるので良いのではないか。

小さなズレが夫婦間の破綻やDVにつながる。

モラハラ的な講座も良いアイデアだと思う。

事務局：男性目線で女性のDVや支援について疑問を持ったことはあるか。

委員：男性と女性は、体の構造が違うので、その点を意識して男性は行動する必要があると思っている。

大きな荷物の運搬や、子どもを抱っこする等の一部は、随分と意識改革されているが、身体的なアプローチに関しては、まだ課題としてあるように思う。

事務局：他に何かあるか。

委員：DVの割合は、圧倒的に男性から女性に対するものが多いが、私の耳に入ってくるのは、逆のパターンで、神奈川県のかなテラス（かながわ男女共同参画センター）でそのような講座をしていたらしい。

また、今年の朝日新聞では男性の3人に1人が女性からDVを受けた記事があった。

男性、女性の両方の視点にたった講座も面白いのではないか。

DVは、親子関係でも起こるもので、子供からのDV等も耳にする。

そのような多様な視点からアプローチしたDV講座も良いのではないか。

事務局：女性からの視点に立った講座が多かったのも、多様な視点からのDVの講座は今までなかった。良いアイデアだと思う。

男女平等推進係も昨年と違い、男性職員が1人から3人になったので、男性の視点からも企画を考えていきたいと思う。

他に何かあるか。

事務局：他に何もなければ、本日の議題は終了する。

委員長：事務局、次回の開催日はいつか。

事務局：次回の開催は令和7年8月27日（水）午後7時から8時30分を予定している。

委員長：承知した。

本日は終了する。

《閉会》